

アメリカシロヒトリの駆除について

☆アメリカシロヒトリとは？

外来種の白い小型の蛾です。繁殖力が強く、数百から数千の卵を産み、10日ほどで幼虫になります。年に2回巣網を張って、1本の木の葉をほとんど食べつくすことがあります。食べるのは葉肉だけで、スジ(葉脈)の部分はきれいに残します。被害に合いやすい樹木は、サクラやカキ、ウメ、ハナミズキ、プラタナスなどの落葉広葉樹です。

☆発生時期

さなぎ	成虫 産卵	幼虫 大量発生	さなぎ	成虫 産卵	幼虫 大量発生	さなぎ
6月		7月	8月		9月	10月

※気象条件等によって変動しますが、おおよそ表の時期に年2回発生します。

☆駆除の仕方

*早期段階(巣網・卵からかえったばかりの頃)

早期の駆除が最も効果的です。卵からかえったばかりの幼虫は、吐いた糸で作った巣に1週間ほど留まっています。クモの巣状になっているので、簡単に見つけることができます。この時期に巣網ごと枝葉を切り取り、ごみ袋に入れて、燃えるごみとして出してください。

*拡散後

発見が遅れ、広がってしまった場合には、スミチオン乳剤やトレボン乳剤などの薬剤散布が効果的です。

現在、環境課では、噴霧器の貸し出しを行っていますので、貸し出しを希望する場合は、事前に環境課までお問い合わせください。

作業にあたっては、使用説明書等をよく読み、近隣の人や動物、作物、洗濯物、車などに飛散しないよう気を付けてください。散布する際も肌を露出しないように十分に注意してください。

※薬剤については、ホームセンターなどでお買い求めくださるようお願いします。



↑巣網の状態。枝ごと切り取り、駆除しましょう。

◎極力農業に頼らない環境にやさしい方法の樹木の保全に、皆様のご協力をお願いいたします。

早期発見すれば、薬剤を使わずに駆除できます。被害発生する時期には、所有している土地の状況について、確認しましょう！

